

10. グランドデザインの進捗状況

グランドデザインの4つの目標 進行管理報告書(平成29年度)

グランドデザインの4つの目標とは「豊中市立図書館の中長期計画 豊中市立図書館グランドデザイン」(平成26年3月策定、以後グランドデザイン)において、平成35年(2023年)までに図書館のめざす姿を実現するために設定されたものです。

図書館のめざす姿を実現するため、28のプランを優先順位の高いものからすすめることになっています。この優先順位の高いプランの実施状況を確認することで、グランドデザインの進捗状況の点検をすすめていきます。進行管理については以下のとおり行います。

- ・0~4の目標のうち、複数のプランがあるものについては、図書館の使命および関連の事業計画や当該年度における図書館を取り巻く現状などに照らし合わせ、年度ごとに優先順位を決定します。決定には直接サービスに関わる分館の施設長等も関わります。

- ・28のプランを関連する4つの目標(1~4)と目標実現を支える取り組み(0)ごとに分類します。

- ・28のプランの優先順位の高い取り組みを抽出し、事業ごとの取り組みや課題、次年度に向けての予定を達成状況とともに表しています。

- ・優先順位の高い取り組みがどの程度達成できているか確認することにより、図書館のめざす姿の実現に向けての進行管理とします。

達成度 ◎：十分達成できた ○：おおむね達成できた △：一部達成 ー：未達成

1. 学びによる市民と地域の自立を支えます。		該当プラン ㉓・㉔・㉕・㉖・㉗
優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成30年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:㉗ 図書館サポーターへの参加機会の提供】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・庄内図書館では平成29年3月から本の修理を中心に月1回、サポーターの活動を開始し、平成30年1月からは月2回に回数を増やしました。 ・野畑図書館では平成29年6月から寄贈されたCDの装備を中心に月1回、サポーターの活動を行っています。 	◎	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○継続したサポーターの募集および人材確保 ○多くの市民に参加してもらえるよう、参加者のニーズの把握と魅力あるメニュー作り ㉗ <p>【平成30年度に向けての取り組み】</p> <p>引き続き「図書館のお仕事体験ツアー」を開催してサポーター希望者を募集し、活動の機会を提供します。 ㉗</p>

2. 市民の利便性を向上させあらゆる情報を提供します。

該当プラン ⑰・⑱・⑲・⑳・㉑

優先的な取組プランと事例	達成 状況	課題、平成 30 度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:⑰開館日数の拡充】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡町図書館のこども室の開室時間の延長を平成 29 年 7 月～9 月の間、試行で実施しました。 ・庄内幸町図書館の開館日を平成 29 年 11 月から週 3 日を開館とし、2 階に自習・新聞閲覧スペースを設置しました。 ・利倉西センター図書室を平成 29 年 7 月に開室し、それにともない、バス図書室を閉室し、「利倉西センター」「グリーンサイドマンション」への動く図書館の巡回も終了しました。 	◎	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○千里図書館の開館日拡充後 1 年の効果検証。バックアップ体制の構築のための全館的な事業の見直しやさらなる効率化 ○シフト勤務による職員間の連絡調整。シフト勤務等で月末整理日が休日にあたる職員の全体会議や研修への参加の機会保障⑱ ○コンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けての図書館システム変更なども含めた環境整備⑲
<p>【優先的取組プラン:⑲ 予約資料の受け取り場所の拡充】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新たなサービスポイントの可能性としてコンビニエンスストアでの予約資料受取りについて検討チームを立ち上げました。検討に際し、職員派遣研修制度を活用し、所沢市の視察を行いました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○次期図書館システムに向けての仕様の検討 ○歴史的音源やデジタル化資料送信などのサービスの周知⑳ ○システムの共同開発研究に関わる協力自治体の検討㉑
<p>【優先的取組プラン:㉑ICT の活用】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・国立国会図書館が配信する歴史的音源のサービス提供を岡町図書館および千里図書館で開始しました。 ・千里図書館のみで行っていた国立国会図書館デジタル化資料送信サービスを岡町図書館でも開始しました。 	○	<p>【平成 30 年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・岡町図書館こども室の開館時間試行延長の効果検証を行うとともに、実施に向けて検討します。 ・庄内幸町図書館の 3 階の開館日以外は職員を配置せず、2 階自習・新聞閲覧スペースを警備員の巡回等により開放します。⑱ ・予約資料を受け取るサービスポイントとして、コンビニエンスストアとの提携の実現に取り組みます。⑲
<p>【優先的取組プラン:㉑」 広域連携の拡大】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・平成 29 年 7 月から北摂地区 7 市 3 町の広域利用、及び大阪市民に向けて庄内図書館限定で広域連携を開始しました。 ・北摂地区内の各図書館へ働きかけ、北摂広域利用統計のフォーマットを新たに作成し、全体の集約を行いました。 	◎	<ul style="list-style-type: none"> ・東豊中図書館、服部図書館においてセルフ予約棚の導入を行います。㉑ ・引き続き近隣の自治体とのシステムの共同開発研究の協力先を検討します。㉑

3. 地域課題に対応した図書館サービスを提供します。 該当プラン ④・⑦・⑧・⑭・⑯・⑳

優先的な取組プラン、事例	達成 状況	課題、平成 30 年度に向けての取り組み
<p>【優先的な取組プラン:⑭調査分析】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 平成 28 年度までに行った町丁別人口と登録率の増減調査に基づき、強化地域へのPR方法を検討し、図書館のPRポスターを掲示しました。 	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○市民アンケート(平成 29 年度実施)自由意見の分析と活用⑭ <p>【平成 30 年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○平成 29 年度に実施された市民アンケート(自由意見)の分析を行い、そこから地域課題や市民ニーズをとらえ、地域に根ざした図書館としてのあり方を探り、PRにつなげていきます。⑭

4. 学校図書館の支援を通じて子どもたちの学びの基礎作りを支えます。 該当プラン ⑪

優先的な取組プランと事例	達成 状況	課題、平成 30 年度に向けての取り組み
<p>【優先的な取組プラン:⑪学校図書館を支援する人材の配置】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> 「学校図書館を活用した授業例とよなかスタンダード(概要版)」を小学校の全教員に配布しました。 学校図書館活用研修、校内研修を実施しました。 学校図書館を活用した授業実践の支援に小学校に outward しました。 知的探究合戦「めざせ！図書館の達人」、子ども読書活動フォーラムを開催しました。 小中一貫校における学校図書館の検討を進めました(小中一貫学校図書館プロジェクトチーム会議、(仮称)北校学校図書館担当者会)。 「学校図書館等読書活動支援システム」のリプレースを行い、その活用方法等の研修を実施しました。 	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○教育センター、学校教育課と連携した、学校図書館教育に関する研修の充実 ○とよなかスタンダードの普及、充実 ○学校図書館を活用した授業実績(単元数)の学校へのフィードバック ○学校図書館活用データベースの活用推進 ○学校図書館の実務経験がある担当者の配置⑪ <p>【平成 30 年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教育センター、学校教育課と連携し、学校図書館教育に関する研修を実施します。 ・「とよなかスタンダード」のさらなる普及、充実に努めます。 ・「学校図書館を活用した授業実績(単元数)」の集約方法を見直し、学校へのフィードバックの手法を検討します。 ・「学校図書館等読書活動支援システム」の学校司書及び教職員の活用促進を進めます。 ・ブックプラネット通信を発行し、情報の発信と共有に努めます。⑪

0. 1から4の目標実現を支えます。 該当プラン①・②・③・⑤・⑥・⑧・⑨・⑩・⑫・⑬・⑮・⑰・⑳・㉒・㉓

優先的な取組プランと事例	達成状況	課題、平成 30 年度に向けての取り組み
<p>【優先的取組プラン:①最適な実施手法の確立】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東豊中図書館・服部図書館の多機能化、効率的な運営をめざして、セルフ予約棚の検討を行いました。 ・民間活力の導入の一つとして、コンビニエンスストアでの予約資料受取りの手法についても研究に取り組みました。 ・地域のニーズにあわせた図書館の機能変更として庄内幸町図書館において開館日を週6日から3日にするとともに、2階に自習・新聞閲覧スペースを設け、職員は常駐しない形で週6日の開放を開始しました。 	○	<p>【課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ○セルフ予約棚設置およびコンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けて、図書館システム変更なども含めた環境整備 ○事務事業の見直しの状況や今後の図書館のあり方についての職員間における情報共有① ○各館の業務のなかで、評価項目表に関わる作業の一層の効率化② ○組織における職域ごとの業務の洗い出し、司書以外の職域の職員に向けての業務の切り出し等
<p>【優先的取組プラン:②評価システム】</p> <p>【事例】</p> <p>簡略化した評価作業による平成 28 年度分の評価項目表を「豊中市の図書館活動」に掲載しました。さらに、図書館協議会委員や市民公募委員等からなる「豊中市立図書館協議会評価部会」を設置。当部会において、図書館の運営状況に関する課題を、「自己点検報告書」、「図書館利用者アンケート調査」などから抽出しました。あわせて図書館が平成 28 年度までに設定した達成目標に対して、外部評価を行いました。</p>	○	<ul style="list-style-type: none"> ○組織の合意形成や課題解決力を高める効率的・効果的な会議の持ち方 ○「豊中市人材育成基本方針」に基づく各職階の職員が果たすべき役割と必要な能力・資質についての認識⑤ ○多様な雇用形態による運営管理の継続実施、貸出等一部業務のセルフ化による効果の最大化 ○労働市場の変化に対応し、優れた人材の確保、および事業の継続性の確保⑥
<p>【優先的取組プラン:⑤職員の役割分担】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・分館の機能見直しにともない、担当者連絡会や施設長・副館長会議を通じ、エリア内や地域館間の協力体制について検討しました。 ・教育委員会総務付の一般職非常勤職員が担当する業務を一覧にし、全館で共有しました。 ・引き続き会議の効率化・迅速化をはかるために、貸出室・子ども室の各担当者連絡会に議論内容をつなぐ役割として、施設長・副館長のなかから 1 名ずつ配置しました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ○中央館機能を持った図書館を核とした施設配置のあり方⑫ <p>【平成 30 年度に向けての取り組み】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東豊中図書館・服部図書館のセルフ予約棚設置およびコンビニエンスストアでの予約資料受取実施に向けて、取り組みをすすめます。① ・図書館協議会からの報告「(仮)豊中市立図書館の運営状況に関する評価報告書」に基づき、豊中市立図書館評価システム評価項目表、29～33 年度までの達成

<p>【優先的取組プラン:⑥採用計画の作成】</p> <p>【事例】</p> <p>事務事業の見直し進捗管理(総務部行政総務課主管:(元)特定事業の見直し)において、図書館事業総コスト・「公共施設総合管理計画」における考え方などの全体像のなかで、職員に関する議論も継続して行いました。</p>	△	<p>目標を設定し、「豊中市の図書館活動」にその報告を掲載する予定です。さらに、グランドデザインの間年にあたることから、今回の評価の結果をグランドデザインへどう反映していくのか検討します。②</p> <ul style="list-style-type: none"> ・業務分担の再検討を行い地域館と分館の役割を明確にしていきます。 ・「豊中市人材育成基本方針」で求められる職員の姿に対して、各職階で自身の日常的な職務行動を振り返り、個々の具体的な目標達成に向けて取り組みます。⑤
<p>【優先的取組プラン:⑫ 施設配置の最適化】</p> <p>【事例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・図書館協議会における議論をふまえ、中央図書館機能について検討しました。 ・図書館が身近にない利倉西地区においてバス図書室を廃止し、利倉西センター図書室を設置しました。 	○	<ul style="list-style-type: none"> ・他部局・学校図書館から配属された職員を対象とする図書館内部の業務研修を引き続き実施します。 ・セルフ機の効果を最大化し業務の効率化・負担減少につなげます。⑥ ・「公共施設総合管理計画」に基づき、図書館協議会の議論をふまえ、中央館機能を持った図書館を核とする施設配置や機能分担の在り方について検討をすすめます。⑫

11. とよなかブックプラネット事業

学齢期の子どもたちの多様な読書・学習活動をささえるため、学校図書館と公共図書館の蔵書を一体的かつ効果的に活用する環境を整備し、相互の連携強化に取り組んでいる。

平成 29 年度は学校図書館における「読書活動支援システム」のリプレースをおこなった。

「豊中市小学校図書館を活用した授業例【とよなかスタンダード*】(概要版)」を小学校教員全員に配布するとともに、研修で活用し、普及につとめた。

また、年々参加が増えている「知的探究合戦『めざせ！図書館の達人』」において中学生大会の日を設定することや、図書委員会などで活動がひろがりつつあるビブリオバトルの大会を「子ども読書活動フォーラム」の中で試行するなど、中学生に向けた読書・学習活動の活性化にも取り組んだ。

*とよなかスタンダード＝図書館教育(情報活用教育)を通して子どもたちにつけたい力を示した指導体系表と学校図書館を活用した授業例(年間計画)